

# (財)長崎県国際交流協会からのお知らせ

## ホストファミリー募集 自宅で国際交流しませんか？

(財)長崎県国際交流協会では、長崎を訪れる外国人、長崎在住の留学生を受け入れて下さるホストファミリーを募集しています。ホームステイ後も連絡を取り合い、行き来している方もたくさんいらっしゃいます。ここ長崎で世界の人と出会い交流するチャンスです！

- \*外国人と交流し、外国について理解したい
- \*外国語を勉強したい
- 今の語学力を維持したい
- \*新しいことを体験したい
- \*子供たちに異なる文化を体験させたい
- \*世界の人と友達になりたい

### <登録、実施方法>

- 1、当協会指定の登録用紙に必要事項を記入の上登録します。  
※用紙はHPからダウンロード可能です。(http://www.nia.or.jp)
- 2、身元保証のできる団体などからの紹介で、当協会が適当と認めた方を紹介します。
- 3、双方合意の下、ホームステイを実施します。

## ♪当協会の交流フロアをご利用下さい♪

月曜から金曜まで9時より5時半までどなたでも利用することができます。(祭日休み)

- ① 掲示板  
国際交流・協力、語学、イベントなど外国や日本に関する情報が掲示されています。
- ② 図書コーナー  
国際交流・協力、世界情勢、地理、語学など各種図書の貸出を行っています。  
(住所を確認できる身分証明書をお持ち下さい。)
- ③ 情報誌コーナー  
全国国際交流情報誌、国際協力情報誌、国際交流情報誌など、自由に閲覧できます。
- ④ オープンスペース  
テーブル・イス・ホワイトボード等があります。
- ⑤ インターネットコーナー  
交流フロアにパソコンが一台あります。  
\*身分証明書をお持ち下さい。  
利用料金：1時間 100円 (賛助会員：無料)



## 賛助会員募集

- ・年会費  
個人会員 3,000円 / 法人会員 30,000円
- ・会員特典：協会の広報誌「なびあ」の定期送付、協会主催の講座やイベントを優先的にご案内させていただきます。特別料金でご参加いただけます。

## 国際理解講座外国人講師派遣先募集！

当協会では、県内の教育関係機関や、国際交流団体、公民館（※非営利団体からの依頼に限る）などの要望に応じて、長崎県内に在住する国際交流員や留学生、また国際理解教育に携わる人々を講師とし、受講者、児童や生徒が主役となった多文化紹介や国際理解に関する講座を行います。授業の一環として外国人講師の自国の文化、言語、経済などを学んだり、修学旅行の事前学習としてマナーや礼儀作法、簡単な日常会話を学んだり、目的はそれぞれです。

指定の申込用紙がありますので、興味のある方は、協会までお気軽にお問い合わせ下さい。

## 編集後記

新年度が始まり、新しい環境で新しいことにチャレンジする人も多いと思います。最近時間の経過が早く感じるため、「今」という一瞬を大切に過ごしたいと思う今日この頃です。

## 発行／(財)長崎県国際交流協会

〒850-0862  
長崎県長崎市出島町2番11号  
TEL 095-823-3931/3929  
FAX 095-822-1551  
Eメール nia@nia.or.jp  
http://www.nia.or.jp



## 財団法人長崎県国際交流協会 第43回理事会が開催されました

(財)長崎県国際交流協会 第43回理事会が、3月28日(月)に長崎市内で開催されました。会議では、平成23年度の事業計画、予算などが審議され原案どおり承認されました。特に、新公益法人制度移行のための最初の評議員候補や新規事業などについて、貴重な意見を賜りました。

また、3月29日(火)には最初の評議員選定委員会が開催されました。公益財団法人への移行に向けて、準備を進めております。



## ☆ながさき歩いてオリエンテーションが開催されました☆

4月16日(土)長崎在住の留学生・外国人などを対象とした「ながさき歩いてオリエンテーション」が開催されました。このイベントは、長崎市内で外国人の生活に関係のある公共施設、公的機関等の生活に役立つ場所を案内し今後の生活に役立ててもらうことを目的としています。今回は、まずボランティア通訳の方とグループに分かれ、長崎の繁華街を歩きながら生活に役立つ場所(生活用品店・銀行・郵便局)などを巡ったり、消防局で消火体験・暴風体験・煙避難体験などを行い防災についての知識を身につけ、最後に図書館で利用方法などについて説明を受け、図書カードを作成したりしました。



## 韓国語講座 追加募集☆

今年度も当協会主催の韓国語講座を実施することになりました！今回は全クラス33回講座なのでゆっくりじっくり学ぶことができます★また、全クラス18:30～20:00なので仕事帰りなどにも受講可能です。

韓国語の基礎から応用まで自分のレベルに合った講座を選ぶことができますよ♪下記講座について追加募集を行います。各講座の内容については当協会までお気軽にお問い合わせください☆

- \*入門クラス 6月10日～平成24年3月16日 (全33回) 金曜日
- \*初級クラス 6月8日～平成24年3月14日 (全33回) 水曜日
- \*中級クラス 6月7日～平成24年3月13日 (全33回) 火曜日

詳細は、当協会のHPでもご覧頂けます。http://www.nia.or.jp



医療通訳士協議会 (JAMI) セミナー (財)長崎県国際交流協会「医療通訳人材育成講座」

### 医療ツーリズムと医療通訳士の役割

日 時：2011年7月9日(土) 14:00～18:00 (受付開始時間は13:30～)  
 場 所：松藤プラザ「えきまえ」いきいきひろば (交通会館3階 JR長崎駅前すぐ)  
 定 員：130名 参加費：無料 参加ご希望の方は、当協会までお問い合わせください。  
 司 会：李 節子 (長崎県立大学大学院人間健康科学研究科教授・日本グローバルヘルス研究センター長)

14:00 開会のあいさつ  
 14:05～14:30 第4回医療通訳士協議会 (JAMI) 総会  
 14:30～15:45 基調講演 松尾信昭 (神戸夙川学院大学教授) 「医療ツーリズムと医療通訳士の役割」  
 15:45～16:00 休憩  
 16:00～16:40 南谷かおり (りんくう総合医療センター市立泉佐野病院健康管理センター長 国際外来担当医師) 「外国人観光客 (訪日外国人患者) への医療施設での取り組み」  
 16:40～17:10 中村安秀 (医療通訳士協議会 (JAMI) 会長) 竹迫和美 (国際医療通訳者協会 (IMIA) 日本支部長) 「米国の医療通訳士の現状と役割」  
 17:10～17:40 医療通訳士協議会 (JAMI) 倫理委員会 「医療通訳士倫理規定」公表  
 17:40～18:00 質疑応答

### 第3回～語り合おう in Nagasaki ～外国人による日本語弁論大会 出場者募集!

長崎で勉強・仕事など頑張っている外国人の皆さん! 日本語弁論大会に参加して、日本での思い出を作りますか? ちょっと自信がないなあ～大勢の人の前で話すのは恥ずかしいなあ～という人も大丈夫! せっかく日本・長崎に居るのだから! 少しでも勇気を出して一歩踏み出してみませんか? 昨年は、オランダ、ベトナム、中国、ミャンマー、ポーランド、韓国、オーストラリア、タイなどが応募して下さいました。皆さんの応募をお待ちしております!

応募締切：2011年10月19日(水)

応募方法：所定の申込書 (協会までお問合わせ下さい)・スピーチを録音したCD  
 スピーチの原稿を当協会まで郵送または持参して下さい。

大会日時：2011年11月19日(土) 14:00～17:00 会場：長崎外国語大学

### ☆協会フロアで活躍する業務支援ボランティアさんの紹介☆

皆さん、こんにちは。中国広東省からきましたカレイガと申します。今は長崎ウエスレヤン大学の三年生です。学校の留学生センターから協会のボランティア募集中のメッセージをみて、これはきっといいチャンスだと思い申し込みました。もっと色々な国の人と出会えるし、日本語の勉強にも役立つし、ぜひチャレンジしたいです。

知らず知らずのうちに、長崎に来てもう五ヶ月になりました。「日本はどんな国だろう、長崎はどんなところだろう、そして、日本人は?」って、来る前はちょっと心配していました。でも、長崎に来た後、すぐに解消しました。長崎のイメージは私の故郷の広州と似ています。気候もいいし、人も親切だし、素敵なところ。特に二月のランタン祭りの時は、とてもにぎやかでした。ランタン祭りのおかげで、私のホームシックは解消されました。

これからの一年半、ここでの生活をもっと大切にしたいです。

一生懸命に勉強し、色々なところへ旅行し、日本の本場の文化を体験し、友達も作りたいたいです。

年を取った後、この二年間は自分の人生の素晴らしい思い出になると思います。

きっといつか「ああ、私はこんな素敵なおとこへ行ってきたのだな」と思い出すとします。



### 帰国後もキラリ★青年海外協力隊

## 井手哲 (いでさとし) さん (諫早市在住)

長崎県土木部港湾課勤務



#### <キャリア5年目、悩める時期での決断。>

井手哲さん(36)が、青年海外協力隊として中米ニカラグアに派遣されたのは、2004年7月。長崎県庁に勤務し、5年目を迎える年でした。井手さんの専門は土木。「地図に残る仕事」として憧れて決めた職業でしたが、当時の井手さんには、悩みがありました。道路や公園をつくる土木の仕事に対して、「こんなところに公園をつくるな!」という住民からの反発を受け、仕事に対する自信を失いかけていたのです。そんな時、友人が青年海外協力隊に参加すると聞いて、強い関心を持ちます。話を聞いたその日の内に調べ、「途上国で働くことで、仕事に対する新しい視点を育てよう!」と決断。上司の理解を得て、現職での参加が決定しました。行き先は中米ニカラグア。専門性を生かして、都市計画という職種で活動することになりました。

#### <住民と協働する大切さ。役所の外にこそヒントがある。>

井手さんが配属されたのは、ニカラグア・チナンデガ県エルビエホ市役所。ここで、都市計画のマスタープラン作成に取り組みました。一番大切にしたのは、積極的に役所の外に出て、住民と対話すること。インフラに対する住民の要望を、フットワーク軽く、かつ粘り強く聞き出し、スペイン語の壁も文化の壁も乗り越えて、活動を展開しました。他にも、大人だけでなく、子供たちも巻き込んで、ゴミのない美しい街づくりのための活動を展開するなど、住民との協働の輪は、2年間という任期の中でどんどん広がっていきました。ニカラグアで得た「住民と協働する」という行政マンとしての姿勢は、帰国後も井手さんの原動力となっていきます。

#### <次の舞台は島原半島! 地元のリソースを発掘。>

帰国した2006年、井手さんが復職したのは島原振興局。当時、長崎県が管理する島原海浜公園には、付近の砂浜に大量に堆積する海藻;アオサの異臭問題がありました。この問題に対し、井手さんは新聞で見つけた記事、「島原農業高校、廃棄物の堆肥化で特許申請」を頼りに、「アオサを堆肥化して処理できないか」と同校の先生を訪ねました。そこで、アオサの堆肥化にはいくつかの壁があることがわかったものの、同校の動物担当の先生から「島原海浜公園で伸び放題になっている雑草を取り除くため、ヤギや羊を放牧して食べさせたらどうか」という新たなアイデアをもらいます。

翌年には、そのアイデアを実現させて、島原農業高校社会動物部の生徒たちに、ヤギや羊を公園で放牧してもらうようになりました。放牧期間中は、近所の子供たちが動物を見にやって来て、さびれた公園はいつしか住民たちの交流の場へと変わり始めました。活動は成長を続け、ヤギ・羊ECOプロジェクトとして、イベントも開催されるまでになりました。井手さんの誠実で穏やかな人柄と行動力に加えて、青年海外協力隊で培った住民との協働という姿勢によって、新しいアイデアが一つずつ形になっていきます。井手さんを知る島原の人たちに話を聞くと、厚い信頼が寄せられていることがよくわかります。

#### <広がるステージ。長崎での挑戦は続く。>

2011年4月より長崎県本庁勤務となった井手さん。今までの活動も進めながら、新しいステージでも住民の声に耳を傾ける行政マンとして、活躍が期待されています。井手さんのお仕事は、地図だけでなく、きっと人の心にも残るもの。よりよい地域づくりのために、故郷長崎で、今日も奮闘中です。

<<青年海外協力隊 OBOG による出前講座のお申し込みは、JICA デスク長崎へ。095-823-3931 >>